

医学生実習の目的

院長

4月には実習の学生さんが3人も来て、皆さんには御迷惑をかけたかもしれません。2000年から学生実習を受け入れ、現在まで40人が実習しています。

学生実習を受け入れる理由は、理念である「お母さんの不安・心配の解消」に基づくものです。様々な活動を通して、理念を広める努力をしてきました。しかし、この理念が自分の代だけで終わってしまうことは残念なことです。実習に来る学生さんが全て小児科を目指しているわけではありません。「お母さんの不安・心配の解消」を患者さんに置き換えれば、どの診療科に行っても大事なことです。「患者さんの不安・心配の解消」は、医療においては普遍的な理念になりうるのです。診療場面を見学することだけでなく、院内報、HP、医療相談、お母さんクラブ、患者さん専用アドレスなどを紹介、このような活動に対して寄せられる親御さんの生の声を伝えています。医療相談に潜む患者さんの不安、直接医師には向けられない不満、問題が解決した時の喜びなど、作り物ではない本音に触れることは、学生さんに大きなインパクトを与えているようです。また、小児医療に興味を持ってもらうことも、もう一つの目的です。小児医療の崩壊が、目の前に迫ってきています。少子化や子育ての不安の増大による小児医療への社会的要求に対して、小児科医の成り手が少なくなってきたことが問題です。このバランスの崩れが小児科医の重労働の原因となり、マスコミでも盛んに報じられています。問題が取り上げられるたびに、小児科を希望する学生さんが少なくなってきたのです。少しでも小児科医を増やすこと、小児科の魅力伝えることも実習の目的です。逆に学生実習は、クリニックにも良い影響をもたらします。スタッフたちの張り合い（とくに若い男性の場合は余計にモチベーションが上がります）もでるし、他人に見られている緊張感もいい刺激になっています。

学生さんからは毎回感想をいただいておりますが、4月に実習した感想を紹介します。

「先日はお忙しい中、実習に参加させていただきましてありがとうございました。今までは教科書を開いて勉強することばかりでしたし、4月から実習が始まって特になにも代わり映えしないものでした。そんな中、先生の病院での実習は僕の医学教育にたいするイメージを良い意味で壊してくれました。本当にこれぞ病院！という環境の中で色々勉強させていただきまして、自分も遠くない将来そ

んなふうになって行くんだと感じ、漠然とした将来を身近に感じました。家に帰ってからホームページ拝見させていただきました。実際に現場で活躍なさっている医師の意見が満



載のホームページだからこそたくさんの方が訪れるのでしょうか。また、相談に対する先生の丁寧な返答、温かい返事がさらに人の輪を広げ、発展していく秘訣なのかもしれません。僕もたびたび実習の息抜きに拝見させていただこうと思っています。スタッフのみなさんにも大変温かくしていただきました。テキパキと仕事をこなしながらも、常に僕に対して気を配ってもらってしまってお世話になりました。先生のところでの実習は先生ご自身による指導はもとより、スタッフのみなさんのしっかりとしたバックアップ・協力体制があってこそ成り立つものだと思います。普通はなかなかそう簡単にはいきませんよね。そういうわけで、病院挙げての学生実習は本当に素晴らしいと感じました。先生のところで医者としての心構え・スタンスを少しでも学習したことは僕自身としては幸せなことだったと思います。というのはまだ実習はほぼ1年残っているのです。その期間に生かすことができるからです。ただ漫然と大学病院での実習をこなしていくのとは雲泥の差ではないでしょうか？。たくさん実際的な、楽しい経験をさせていただいたので昨日の大学病院での実習はいつにも増してひどく退屈に感じました。また機会がありましたら是非ご指導のほどよろしくお願いいたします。」

この学生さんは、きっと患者さんとコミュニケーションを考えるいい医者になるでしょう。実習を通して、少しでも医学教育に貢献できればと思っています。実習を受け入れることに関しては、患者さん達の協力も必要です。待ち時間が長くなったり、学生さんに診察をさせたり、点滴の介助、赤ちゃんの抱っこなど、いろいろと御迷惑をおかけするかもしれません。感想にもあったように、大学病院とは違う、かわむらこどもクリニックの特徴を活かした、学生実習を続けていきたいと思っています。院長とスタッフのクリニックだけではなく、患者さんも一緒になった教育が必要です。これからも学生さんが、実習に来ます。いろいろな意味で医者のお卵を育てるために、温かい言葉を掛けてください。そして、これからも御協力をお願いします。

読者の広場

先月は14通のメールを頂きました。いくつか紹介します。まずは青葉区の川田さんからのメールです。入学式の写真と共に頂きました。「こんにちは、



旭ヶ丘の川田あやのです。3月の卒園前は、本当にお世話になり、ありがとうございました。先生の懸命の治療のお陰で、無事に卒園式に出ることが出来、病気も、卒園式を境に、すっかり良くなっていました。そして、無事に入学式も済ませ、元気に小学校に通っています。こうして、元気に一年生になれたのも、川村先生並びに、スタッフの方々のお陰でもあります。改めて、お礼申し上げます。ありがとうございました。そして、これからも、親子共々、我が家のかかりつけ医院として、よろしくお願ひいたします。」。卒園式はギリギリセーフでした。卒園式に出られ、本当によかったですね。そして、御入学おめでとうございました。もうひとつは、院内報への感想です。宮城野区の古山さんからです。「古山 珠里奈、心菜の母です。いつもお世話になっています。そして毎回興味深く読ませて頂いているクリニックニュース。今日もらったのはいつもの医療のことでは無い野球の話が一面に。先生が野球に熱心なんて初めて知って、大の野球好きのパパも喜んでいました。実は私の祖父も知らないでしようが元阪神タイガースの投手の若林忠志。ホント今回のイチロー選手の頑張りに普段はあまり興味の無い私まで野球の楽しさを知りました。いろんな意味で心に残ったWBCでした。また医療に関係無い話しても載せてください。楽しみにしています。毎日お疲れ様です!!」。ありがとうございます。確かに医学的な話だけでは、つまらないかも知れません。今までも様々な話題を提供してきましたが、今後は今まで以上に違う領域の話題も掲載していきたいと思ひます。ちなみに来月は、ゴールデンウイーク旅行記(院長の趣味)を書いてみる予定です。乞う御期待!!。読者の皆さんから記事にや内容についての御意見やリクエストをいただければと思ひます。リクエスト等があれば、遠慮なくpatient@kodomo-clinic.or.jp(携帯からでも大丈夫です)までお願ひします。

予防接種の変更に関するお知らせ

先月も御紹介しましたが、4月1日から予防接種法が変わり、麻疹と風疹の混合ワクチン接種が始まりました。仙台市では未接種者に対して経過措置が設けられています。下記にあてはまるお子さんは早めに接種して下さい。

経過措置接種(単抗原ワクチン)：仙台市民のみ対象
対象者：取扱いは任意接種ですが、費用は仙台市が負担。

(1)生後12ヵ月以上～24ヵ月未満で以下に該当する方

①平成18年3月31日までに、『麻しん』又は『風しん』の何れか一方のみの予防接種を受けた方

②「麻しん」又は「風しん」の一方に罹患したことがあり、残る一方の予防接種を受けていない方

(2)生後24ヶ月～36ヵ月未満で以下に該当する方

①「麻しん」又は「風しん」の一方のみ予防接種を受けた方

②「麻しん」または「風しん」の一方に罹患したことがあり、残る一方の予防接種を受けていない方

③「麻しん」「風しん」両方の予防接種を受けていない方

36ヵ月～5才未満は定期接種から外れ、接種の場合は任意接種となり費用は自己負担となります。不明な点は、スタッフまで問い合わせください。

お母さんクラブの御案内 新規会員募集中

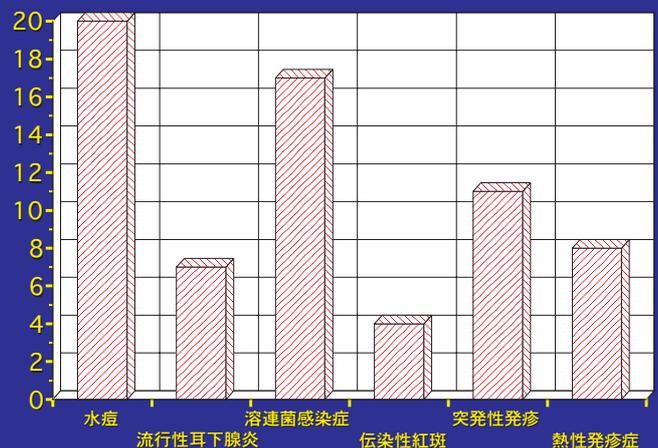
5月25日(木) 14:00～ 福沢市民センター
子どもによく見られる症状・病気と対処法
入会申し込み及び参加希望の方は受付まで。

5月のお知らせ

- ・栄養育児相談
毎週水曜日 13:30～
栄養士担当 参加無料
- ・医学部学生実習
5月22日(月) ご協力を!!



4月の感染症の集計



一旦減少した水痘が再び増加傾向を示し、流行性耳下腺炎は横ばい状態です。先月36人みられた溶連菌感染症は、半分近くに減少していますが例年と比べれば未だに多数みられています。また、伝染性紅斑が一部の小学校で流行し、当院でもみられました。インフルエンザはなくなりましたが、下旬に一部の幼稚園でA型が流行していました。東京では、B型の流行もみられているようです。

新聞掲載のお知らせ

5月中(時期未定)に「夏カゼと小児科へのかかり方」について解説した院長の記事が、サンケイリビング新聞(全国:カラー)に掲載されます。仙台ではリビング仙台に掲載されます。御覧になって下さい。

編集後記

ゴールデンウイークは長期に渡る休みで、御迷惑をお掛けしました。お陰様で、ずいぶん黒くなり、リフレッシュすることができました。これで夏休みまでモチベーションが保てそうです。ご協力ありがとうございました。



院長著書「小児科医がやさしく教える 赤ちゃん子どもの病気」の再版にご協力を。
詳しくは [かわむらこどもクリニックHP\(http://www.kodomo-clinic.or.jp\)](http://www.kodomo-clinic.or.jp)を